

HP 開設と管理の注意点



いまい ひろし
今井 洋

今井歯科医院
〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前1-13-9

“歯科医院のHP”は、活用法によっては想像以上の効果をもたらす場合がある。なんといっても、インターネットはワールドワイドで、自由に敏速な情報発信の手段だからだ。しかしながら、使い方を誤ると思わぬ落とし穴にはまってしまうことがある。今回は、HP開設と管理の注意点について触れてみる。実際にHPを開設してみると、想像していた以上のさまざまな困難や出費を余儀なくされることがある。

こんなはずじゃなかった……

ケース1：人間ネットワークの欠如

自分でHPの入門書やソフトを購入したものの、開設のスキルやテクニックを身につけるのが面倒になってくる。自分の意図するイメージが湧いてこない、どうやって表現したらいいのかわからない、友人に聞いたり、教室に通うのも気が引ける等々、HPの開設は情熱がなければ始まらない。時には多くのHPを見

て、自分の求めるイメージを探すことも必要になってくる。

また、友人でも自分の子どもでも、あるいは患者さんでも、わからないことを素直に何でも聞ける環境づくりが大切だ。そのような人間ネットワークの構築こそがインターネットの基本だ。

ケース2：理念、コンセプトの欠如

業者にHPの開設を依頼した場合、数万円から数十万円の費用がかかる。院長自身がはっきりした理念やコンセプトを持たないにもかかわらず、開設を依頼し、入念な打ち合わせがないまま「任せきり」にしてしまうと、開設はできても、自分の意図するデザインやコンセプトに合わない場合、ユーザーから多くのアクセスは期待できない。

また、内容を更新したくても、そのたびに多額の費用を請求されることが多い。もちろん定期的な管理料もかかるので、費用対効果をしっかり考えるべきだ。どのような考えを

持っているのか、自分をどのように表現したいのかを明確にできなければ、HPの開設と継続は難しい。

ケース3：文章力とセンスの欠如

HPに比べ、ブログは開設も継続も比較的楽だ。最近では“ビジネスブログ”という、簡単に自分で更新できるHPを開設する人も多い。

ブログはもともと日記から派生したものだが、日々話題を提供できる関心の広さと、文章力が必要だ。開設者の人柄がわかって、それを頼りに来院する患者さんも現れる可能性はある。しかしながら、歯科に関する書き込みでは読み手からの質問が多くなり、さらに歯科関係の話題の提供には限界がある。また、日常の出来事や趣味についても、内容を十分吟味しなければかえって反感を買ってしまうことが多い。「もっと読んでみたい」と感じさせるような魅力的な日記を継続するのは難しい。

ケース4：回答に関する責任の欠如

開設当初、“問い合わせメール”